

見沼中学校区における施設一体型義務教育学校の設立について

【行田市における小中一貫教育の推進】

- 1 行田市の課題
 - ① 学習意欲の低下
 - ② 不登校者数の増加※ いずれも中学校進学後に増加しており、小中の指導方法の違いや、学級・部活動など生活面での人間関係の変化が大きく（中1ギャップ）、心理的不安が増すことが要因と認識しています。
- 2 中学校区での研究委嘱
 - H28・H29 埼玉中学校区、太田中学校区
 - H29・H30 見沼中学校区
 - H30・H31 南河原中学校区※ 学力向上や中学進学不安緩和などの成果が見られた一方で、相互乗り入れ授業や交流事業などを継続的に実施するうえで、教職員のマンパワーや人の移動に関する時間と場所の制約が課題として挙げられました。
- 3 「行田市小中一貫教育基本方針」策定（H31.3月）
 - ※ 既存の学校施設を活用して、行田市全体として小中一貫教育を推進することとし、学校再編に伴い施設一体型の義務教育学校の実現が可能な中学校区は設置の準備を進めることとしています。

【見沼中学校区における学校再編成について】

- 1 「行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画」策定（H31.3月）
 - ※ 行田市全体の将来的な適正規模・適正配置の基本方針を示すとともに、過小規模校の解消・回避のための短期間での再編成を計画しました。
 - ※ 見沼中学校区においては、北河原小、荒木小、須加小を再編成しても多くの学年が単学級編制となること、また進学先である見沼中においても学校規模から、現状では全ての教科の県費負担教員配置が不可能であるなど、施設分離型での小中一貫教育を実施するには、他の中学校区と比較しても条件面で不利な状況にあります。

そのため、教員配置の改善や小中の相互乗り入れ授業、交流を通じた学力向上、中1ギャップの解消などが期待できる施設一体型の義務教育学校を目指すこととしたものです。

2 地域への説明・意見交換等

① 再編成計画地域説明会

R1.5.28 見沼・南河原中学校区合同説明会

② 地域組織設置に向けた説明会・意見交換会

R1.7.30 第1回見沼中学校区地域協議会

R1.8.18 小学校保護者意見交換会（北河原小、荒木小、須加小）

R1.8.27 第2回見沼中学校区地域協議会

3 見沼中学校区義務教育学校開校準備委員会・専門部会の設置

令和4年4月の開校・再編成に向けた具体的な協議を行うための準備委員会及び下部組織として5つの専門部会を設置。

- 開校準備委員会 … 各部会の報告に対し意見集約・承認
 - ・ 学校運営部会 … 校名・校歌・校章、閉校・開校式
 - ・ 通学部会 … 通学路の設定、スクールバスの運行
 - ・ P T A部会 … P T Aの組織・運営、体操着
 - ・ 教育課程部会 … 教育目標、学校行事、児童生徒会、生活のきまり
 - ・ 事務部会 … 備品・図書・保存文書の整理

開催状況

	準備委員会	学校運営部会	通学部会	P T A部会
第1回	11/12 設立	12/11 校名決定方法の 提案	12/18 検討事項確認	12/17 検討事項確認
第2回	1/14 部会協議状況の 報告	1/8 校名募集要領の 検討	1/15 スクールバス運行方 針の提案	1/21 PTA 会則現状 体操着作成方法
第3回	6/27 校名候補決定 校舎配置説明	2/12 校章・校歌の決 定方法協議	2/26 バス利用基準 通学ルート	6/16 PTA 会則案 体操着サンプル
第4回		6/10 校名候補選定	6/17 バス利用基準	

※ 教育課程部会の検討事項協議のため、11月から月1回4校の校長連絡会を開催

※ 事務部会は、4月22日に短期間での再編成対象校合同で開催

4 義務教育学校の施設整備について

小中学生がともに生活する行田市で初めての施設一体型の義務教育学校として設立を目指していることから、小中一貫教育の成果を最大限あげるため、特色ある学習・活動の内容に則した教室等の配置・機能を実現する施設改修を検討しています。

【見沼中学校区義務教育学校の基本構想】

「たてのつながり」と「よこのつながり」

